



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2012年9月11日)

## ポイント

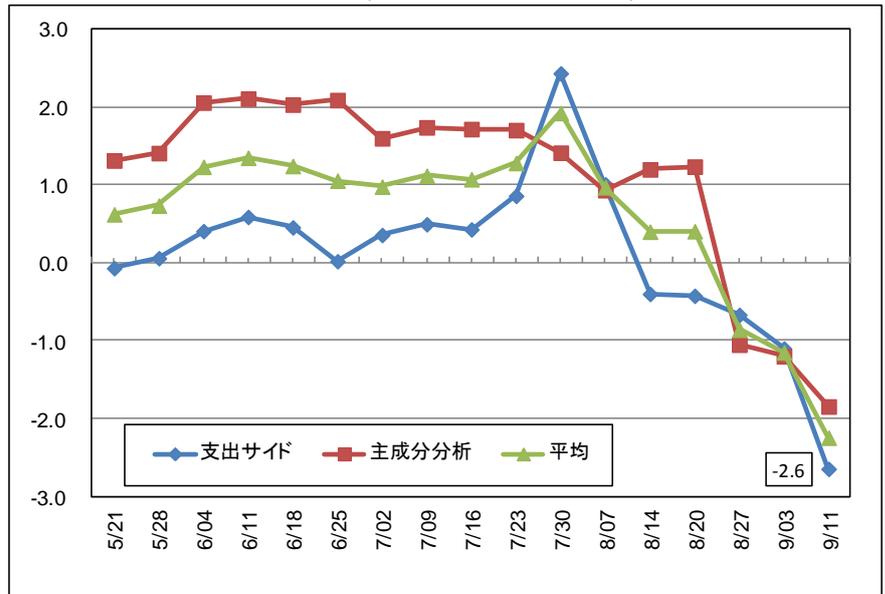
▶今週の予測では、8月の乗用車新車販売台数、食糧安定供給、7月の毎月勤労統計、消費総合指数及び国際収支が更新された。加えて、4-6月期 GDP2次速報値が追加された。

▶4-6月期実質 GDP(2次速報値)は前期比年率+0.7%と1次速報値から下方修正。実質民間企業在庫品増減の寄与度の下方修正が主要因である。

▶民間最終消費支出の予測には消費総合指数を用いているが、7月の同指数は前月比-0.5%低下し、2ヵ月連続のマイナス。7月実績は4-6月平均比0.9%低い水準である。7-9月期民間最終消費にとっては厳しいスタートとなっている。

▶今週のCQM(支出サイド)は、7-9月期の実質 GDP 成長率を、内需と純輸出がともに縮小するため前期比-0.7%、同年率-2.6%と予測。先週の予測(-1.1%)から下方修正された。CQMは5週連続でマイナス成長を予測し、いまだ反転の兆しは見られない。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2012Q3 (%、前期比年率換算)



### <4-6月期 GDP 下方修正と低調な民間消費のため7-9月期成長率マイナス幅が拡大>

今週(9/11)の予測では、8月の乗用車新車販売台数、食糧安定供給、景気ウォッチャー指数、消費動向調査、7月の毎月勤労統計、消費総合指数、景気動向指数及び国際収支が更新された。また4-6月期 GDP2次速報値が追加された。

8月10日に発表された4-6月期実質 GDP(2次速報値)は前期比年率+0.7%と4期連続のプラス成長を記録したが、1次速報値(+1.4%)から0.7%ポイントの下方修正となった。実質民間企業在庫品増減の年率寄与度が1次速報値から0.4%ポイント下方修正(-0.2%→-0.6%)されたことが主要因である。

CQMでは民間最終消費支出の予測の基礎資料として消費総合指数を用いているが、7月の同指数は前月比-0.5%低下し、2ヵ月連続のマイナスとなった。6月値も下方修正された結果、7月実績は4-6月平均比0.9%低い水準である。7-9月期民間最終消費にとっては厳しいスタートとなっている。加えて、8月の乗用車新車販売台数(季節調整はAPIR)も前月比-0.6%減少し、3ヵ月連続のマイナスとなった。

新たな月次指標と4-6月期 GDP2次速報値を更新した今週のCQM(支出サイド)は、7-9月期の実質 GDP 成長率を、内需と純輸出がともに縮小するため前期比-0.7%、同年率-2.6%と予測する。内需、特に民間最終消費支出の予測値が今回下方修正されたため、先週の成長率予測(-1.1%)から下方修正となっている。CQMは5週連続でマイナス成長を予測し、いまだ反転の兆しは見られない。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6441-0550